

令和8年3月13日

那須烏山市議会議長 中山五男 様

文教福祉常任委員会委員長 荒井浩二

所管事務調査結果報告書

令和6年第2回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 令和6年6月12日から令和8年3月13日まで
- 2 構成委員 荒井浩二、平塚英教、堀江清一、矢板清枝、滝口貴史
- 3 調査事項
 - (1) こどもの教育に関する事項
 - (2) 医療・福祉に関する事項
 - (3) 歴史・文化・スポーツに関する事項
 - (4) その他所管に属する事項

4 調査結果

(1) 市内小学校における地域学校協働活動の視察

令和6年8月29日、江川小学校で実施している地域学校協働活動「小学生ゴルフ教室」の視察を行った。地域全体で教育を支える体制の重要性を改めて実感するとともに、この官民一体となった取り組みが子どもたちの豊かな学びと地域の絆づくりにつながるよう、議会としても支援の在り方を考える契機となった。

(2) 文化スポーツ複合施設視察

令和6年10月1日、矢板市の標記施設を視察した。当施設は、老朽化に加え令和元年台風19号により被災した矢板市文化会館と矢板市体育館の代替施設として統合整備された。時代と需要の実勢に合わせて規模を縮小し、研修室やトレーニング設備、中長期向けの避難所機能を有しながらもコンパクトでDXに対応した複合施設となっている。全館エアコンを完備した施設は需要が高く、大会や合宿に利用され、当初目標の年間利用者3万人を超えるペースで稼働している。

本市でも公共施設の再編が議論されているところであり、調査研究を続けていく上で有意義な視察となった。

(3) 南那須保護区保護司会との懇談会の実施

令和6年10月8日、文教福祉常任委員会として初めての取り組みである「南那須保護区保護司会那須烏山分区との懇談会」を開催した。懇談会では保護司会の抱える課題や、令和6年10月に法務大臣へ提出された有識者検討会による保護司制度見直しを議論した報告書についてなど、様々な話題について意見交換を行った。

また、オンラインを活用し、複数人で面接を行う方法や、プライバシー保護の観点等から面接場所を公共施設に拡充するなど、制度見直しにあたって苦慮している部分についても伺った。

次期委員会でも引き続き所管課に関係する団体との懇談会を実施するよう希望したい。

(4) 自立持続可能性自治体における子育て支援施策

令和7年1月21日、埼玉県比企郡滑川町を訪問し、子育て支援施策について視察研修を実施した。滑川町は人口戦略会議の分析で「自立持続可能性自治体」に挙げられており、人口と子どもの数が増加し続けている。親と地域がともに子育てを行う町を目指し、こども医療費無償化と給食費無償化を平成23年から実施している。町の負担は年々増加しているものの、結果として町外へのアピールにつながり、必要な支援を続けることで結果を出してきた先進性と独自性に非常に感心した。

(5) 文化創造インキュベーション施設「コエトコ」視察

令和7年1月22日、埼玉県川越市が令和6年4月に開業した標記施設を視察した。歴史と共存する街並みやりノバージョンされた有形文化財を拠点として行われる創業支援と地域振興策について説明を受けた。

土地は違えど新たな価値と仕事を生み出し、創造を助ける行政の取り組みと覚悟から、本市も目を背けてはならないと感じた。

(6) 市学校給食センター視察及び学校給食の試食

令和7年3月12日、学校給食センターを訪問し、施設の見学と学校給食の試食を行った。担当職員との意見交換では、物価高騰の折に給食の質や量を維持するための工夫、食育の指導、食べ残しを減らす試みやアレルギー対策といった児童生徒のための様々な取り組みについて伺った。

(7) 文化財の保存及び観光資源としての活用

令和7年10月30日、長野県松本市を訪問し、市域全体を屋根のない博物館として新たな活動を展開する「松本まるごと博物館構想」について視察研修を実施した。松本市では、市民の郷土愛醸成を目的に、市民学芸員養成講座を実施している。受講者は修了後も継続的に探究活動をしており、文化財をはじめとした地域資源の情報発信に有効な取り組みであった。

(8) 福祉避難所に直接避難できる仕組みづくり

令和7年10月31日、長野県長野市を訪問し、災害時に一般の避難所へ避難できない避難行動要支援者が、福祉避難所に直接避難できる仕組みづくりについて視察研修を実施した。長野市は大学等の関係機関と連携し、一人ひとりの心身の状態に合わせた支援体制の整備を進めている。災害の激甚化、頻発化が進む中で、市民の安心安全のための取り組みとして大変参考になった。